

# 島田市制施行10周年記念式典 開催



平成17年に旧島田市と旧金谷町が合併し、新しい島田市が誕生。平成20年には旧川根町も加わり、本年5月5日に新市誕生10年の節目を迎えました。市では、11月1日に「島田市制施行10周年記念式典」をプラザおおるりで開催し、多くの市民や来賓の皆さんと祝いました。

◎秘書政策課 ☎36・7117

式典では、出席者全員で物故者に黙とうを捧げた後、染谷市長が「新市誕生10年という節目を迎え、本年より新たな挑戦の10年が始まります。信頼されるまち・選ばれるまちとして、さらなる存在感を示し、輝くことができるよう全身全霊を注いで邁進していきます」と式辞を述べました。

続いて、紅林市議会議長が「この10年は、三つの旧市町が一つのまちとなる礎を築いてきた期間でした。今後は、それぞれが長年にわたり培ってきた地域資源・伝統・文化を次の世代に引き継ぎながら、夢と希望を抱ける市となるように、一層の努力をしていきます」と挨拶を述べました。

さらに「島田市表彰」と「島田市制施行10周年記念表彰」の各表彰を行ったほか、市のブランドメッセ「ジ・ロゴ」と、新たに制定した「市民憲章」を発表しました。

※表彰者については、市ホームページで、詳しく紹介しています。

## 市民憲章を制定しました

合併前の旧市町では制定されていた市民・町民憲章ですが、新しい島田市では、これまで制定されていませんでした。このため、新市誕生10周年を祝うこの機会に合わせ「島田市民憲章」を制定しました。

◎地域づくり課 ☎36・7197

## ◎島田市民憲章制定委員会

今年1月22日に発足し、6回の会議を開催しました。委員は市民10人で、平均年齢38歳（発足当時）という比較的若いメンバーで構成されました。

## ◎制定までの手続き

6回の制定委員会と作業部会で作成した案について、パブリックコメントを行い、9月議会で議決。記念式典が行われた11月1日を制定日として公表しました。

## 子どもたちの未来のために

制定委員 田中 信也さん 相賀

「わが子の未来を見据えつつ、島田市らしさを出せるように作業に取り組みました。制定委員のメンバーが若かったこともあって、若い世代でも将来像を描くことができる条文になったと思います。多くの皆さんに親しんでもらえたらうれしいです」



## 「島田市民憲章」

さやかなる大井川  
越すに越されぬは昔のこと  
今では心の架け橋が市民を結ぶ  
山並みに汽笛が響きお茶香る  
健やかなくらし  
尊敬・信頼・感謝のもとに

みんなで幸せ

分かち合うまち 島田市

歴史と伝統を重んじ

明日への飛躍を願いながら

思いやりにあふれる

誰にでも優しい

まちづくりを目指し

わたしたちは  
ここに市民憲章を謳う

わたしたち島田市民は

しぜん文化

そして人権を尊びます

まつりスポーツ

そして子育てを楽しみます

だれもが歴史産業

そして協働を讃えます

しごと学習

そして健康づくりに励みます

みんなで創ります

わたしたちのふるさと

わたしのまち 島田

平成27年11月1日制定